

「ゼロカーボン北海道」タスクフォース・地方支分部局レベル会合（第6回）

議事概要

令和6年1月15日（月）
15:00～16:30
札幌国際ビル8階 国際ホール

1 開 会

●北海道地方環境事務所長 牛場 雅己

地方自治体、民間企業、一般市民による、脱炭素・GXの理解は着実に浸透してきたと感じている。北海道内では、79%の市町村がゼロカーボンシティ宣言をされる等、脱炭素・GXの取組の進展が見られる。

本日のタスクフォースにおいては、各メンバーの脱炭素化に向けた取組等を紹介いただき、情報と認識を共有して今後の施策に活かしたい。また、メンバー間で多角的な連携を進め、北海道のゼロカーボンをさらに推進させる機会としたい。

2 議 事

(1) 北海道における脱炭素やGXの動向について

- ・北海道庁より、資料1に基づき、北海道内の脱炭素やGXの動向について説明。
- ・資料に記載の政策を含む各政策に対して、地方支分部局からも支援及び協力を依頼する旨発言。

(2) 各地方支分部局におけるゼロカーボン関連取組について

- ・北海道総合通信局より、資料2-1に基づき、取組を紹介。
- ・北海道農政事務所より、資料2-2に基づき、取組を紹介。
- ・北海道森林管理局より、資料2-3に基づき、取組を紹介。
- ・北海道経済産業局より、資料2-4に基づき、取組を紹介。
- ・北海道開発局より、資料2-5に基づき、取組を紹介。
- ・北海道運輸局より、資料2-6に基づき、取組を紹介。
- ・北海道地方環境事務所より、資料2-7に基づき、取組を紹介。
- ・北海道庁及び地方支分部局における様々なゼロカーボンの取組を踏まえ、今後この会合における連携方策を検討していく提案がされ、承認された。

(3) 第4回脱炭素先行地域選定自治体（苫小牧市）の取組について【報告】

- ・苫小牧市より、資料3に基づき、脱炭素先行地域における取組を紹介。

(4) 「ゼロカーボン北海道」タスクフォース・地方支分部局レベル会合運営要領の改定について

- ・本会合のオブザーバーに北海道財務局を追加する提案がされ、承認された。

- ・北海道財務局より、資料４－２に基づき、「金融・資産運用特区」等の取組を紹介。
- ・北海道士屋副知事より、北海道が有する国内随一の再エネポテンシャルを最大限に活用し、国内外からできる限り多くの投融資を呼び込みながら北海道全体のGXの関連事業に繋げていくことが重要であり、札幌市をはじめTeam Sapporo-Hokkaidoの構成機関とも連携しながら特区制度の活用について検討を進めていきたいと、地方支分部局各位には引き続き多大な協力をお願いしたい、とのコメントがあった。

3 閉 会